

黒潮

平成21年1月発行

第106号

和歌山県看護協会会報



高野山 根本大塔



CONTENTS

- 新年のごあいさつ …………… 2
- ナース章受章者のことば …… 3~5
- おめでとうございます …………… 5
- 保健師のコーナー …………… 5
- 助産師のコーナー …………… 6
- 看護師のコーナー …………… 6
- 看護協会委員会のコーナー …… 6
- 私の○○ …………… 7
- リレーエッセイ …………… 7
- トピックス 2009 …………… 8
- My School …………… 9
- 和歌山県看護協会の動き …… 10

会員総数	5,485名
名誉会員	1名
保健師	133名
助産師	183名
看護師	4,474名
准看護師	694名
平成21年1月5日現在	

新しい年を迎えて

社団法人和歌山県看護協会

会長 木村 佐多子

新年あけましておめでとうございます

会員の皆様には新しき良き年をお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は、業務多忙な中、本協会事業に温かいご支援ご協力を頂き厚くお礼を申し上げます。私こと、看護協会長に就任して6ヶ月、皆様に支えられて何とか役目を果たしており、これも一重に会員の皆様や関係各位のご指導ご支援の賜物と改めて感謝申し上げます。

今、少子高齢化が加速し、相次ぐ医療制度改革の中で、看護職の役割・機能は多様化し続けており、3職能の専門性の強化が強く求められています。県民の期待に応えるためにも安全・安心で納得のいく医療・看護サービスの提供は勿論、生活習慣病や介護における予防活動、自立した助産ケアの体制推進、在宅医療の推進等保健医療福祉サービスの充実を図っていかねばなりません。しかし一方、看護職を取り巻く環境は厳しく、7対1看護配置の新設も相まって、各施設は人材確保に苦慮しているところ。質の高い看護職員確保定着推進は、日本看護協会、当協会共に平成19年度からの最重要課題であり、ナースセンター事業や看護師職能委員会、社会経済福祉委員会とも連携しながら、ワーク・ライフ・バランス実現も含めた実態調査や新人や卒後3～5年目リフレッシュ研修も実施しているところ。今年度はこの3年計画事業の最後の年、引き続き看護職員確保定着推進事業を最重要課題として、「いきいきと働き続けられる職場づくり」実現に努め、管理者のための職場サポートブックの現場への浸透や県内でのワークライフバランス導入施設等の紹介・情報交換等進めていきます。それと共に、新卒看護職員離職防止に向けて「看護基礎教育改革」「卒後臨床研修の制度化」実現に向けて引き続き行政や関係団体へ働きかけていきます。

その他の重点項目に関する事業も順調に進んでおり、これも各地区支部委員始め、理事、3職能委員会、各委員会、会員の皆様方のご尽力の賜物と感謝申し上げます。

昨年発足の「災害看護対策委員会」「医療安全対策委員会」「認定看護管理者教育課程セカンドレベル運営委員会」もそれぞれ活発な活動を展開しており、セカンドレベル教育は、今年度開校予定で準備を進めています。ファーストレベル教育は、管理者になるための基本でもあり、今年度以降も開催する予定です。

会員の組織強化に関しては前年比250名の減となり、活動の基本となる組織強化にもっと力を注がなければと決意しておりますのでご協力の程宜しくお願い致します。

また、看護研修センター建設に関しましては、順次「黒潮」でもお知らせしていますが、購入予定地には隣接して保育園が建設開園され、周辺住宅も増加する等状況が変わってきています。また、社会を取り巻く経済環境は大変厳しく、明るい展望が見えない状況ですが、これからも「黒潮」等で情報を発信しながら真摯に取り組んでいく所存です。今年度は、第1期預託金納付をお願いすることになっており、皆様には多大なご負担をおかけしますが、次世代を担う看護職のためにも、何卒ご協力の程宜しくお願い致します。

また、駐車場確保に関しましても、昨年8月よりローソン大浦西浜店裏に42台分の駐車場が確保され、会員の皆様の研修会参加に利用されているところ。です。

新公益法人移行に関しましては、日本看護協会は担当参与を配置して、職能団体としての使命や基本理念等について第3次案迄検討しており、県看護協会としても、公益法人化に向けて委員会を立上げる予定をしています。組織理念や役割等につきましても、会員の皆様方からも色々ご意見を頂きたいと願っております。

今年度も、会員の皆様方から期待して頂ける魅力ある協会の実現を目指し、微力ながら努めて参りますので、今後ともご支援・ご協力いただけますようお願い申し上げますとともに、会員の皆様方のご健勝・ご多幸を祈念致しまして新年のご挨拶とさせていただきます。

ナース章を受章して

和歌山労災病院 川上 はるき



この度、栄えある和歌山県ナース章を受章致しました。これまで私共を支えていただいた関係各位の皆様にご心から感謝の気持ちを伝えたいと思います。

学生時代から「患者中心の看護」の教育を受け、その精神は今でも脈々と流れ、現在の自分のベースとなっていると考えています。そして、看護の現場で人々との出会いの中での感動が今まで看護の仕事が続けられた原動力になっていたと今改めて感じています。

永らく勤務させていただいた和歌山労災病院が新築移転の記念すべき年のナース章受章は私にとっては大切なものとなりました。今後は後輩の育成と素晴らしくなった和歌山労災病院で看護の感動を得られる努力をもうしばらくさせていただきます。

藤民病院 久保 江美子



この度、栄えある和歌山県ナース章を賜り、身に余る光栄と存じます。

ご推薦くださいました関係者の皆様方に心よりお礼申し上げます。

私が30余年、仕事・家庭・子育てと頑張ってきたのも、職場環境が良く、多くの方々に支えられ今日があるものと感謝しております。

平成12年に一部介護療養型に転換したのを機に、介護支援専門員として、患者様に快適な療養環境を提供できるよう、他の職員と共に取り組んできました。

この受章を機に、安全・安心で納得のいく看護を目指して、日々努力したいと考えております。今後ともご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

和歌山県立医科大学附属病院 小泉 美穂



この度、栄えある和歌山県ナース章を賜り、身に余る光栄でございます。ご推薦いただきました関係者の皆様方に心よりお礼申し上げます。これまで看護師を続けて来られたのも、尊敬できる上司に恵まれたこと、厳しい中にも温かく指導し支えていただいた職場の皆様のお陰だと、感謝しています。

看護を取り巻く環境は非常に厳しいものがありますが、私が働き続けられたように、看護をめざす若い方が、「組織の中で、自分らしくイキイキと楽しく働ける職場づくり」を目標に、今後も頑張りたいと思います。今後ともご指導よろしくお願い致します。

芝けいこ助産所 芝 佳子



この度、栄誉ある県ナース章を賜り、身に余る光栄と存じます。ご推薦下さいました関係各位の皆様にご心からお礼申し上げます。

“命の誕生”に感動し、助産師が自分の天職であると感じて母子支援に励んでまいりました。地域に出るとは、自分一人では何もできないこと、地域の人々の支えがあってこそ活動できると痛感しました。

女性のライフサイクルに係わる助産師として、安心してお産ができ、ゆったりと子育てができる環境が実現できるよう、又、瞳輝く子ども達が一人でも多く育つよう一層努力していきたいと思っております。

今後共、よろしく御指導の程お願い申し上げます。

感謝

ナース章を受章して



上富田町保健センター 高垣 通代

この度は栄えある和歌山県ナース章を賜り、身に余る光栄と存じます。

今回の受章は、個人ではなく町の保健師の代表としての受章であり、先輩、同僚、後輩や関係各位の皆様方によるご支援、ご協力の賜により受章できましたことに感謝申し上げます。

当初は先輩と2名で勤務していましたが、退職に伴い以降は後輩6名とともに、若い方々の支援をいただきながら地域における公衆衛生活動を実施してまいりました。その間、事業のさまざまな変遷を受けながら、住民の方々に迷惑をかけないよう、他市町に遅れることなくと必死になって業務をこなしてきたかのように思います。

でも仕事を続けてこられたのは、健康であったからこそで健康に感謝するとともに、働ける環境を作っていた皆様方に感謝いたします。

今回受章の翌日が町制施行50周年記念イベントが行われましたが、改めて上富田町で働けたことに素晴らしいと誇りを感じ、残された勤務期間は精一杯がんばり、良いところは後輩たちに引き継いで頂き、今後とも健康で明るい町づくりの推進の一端を担っていきたく、皆様方のご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

日本赤十字社和歌山医療センター 豊田 達子



この度、栄えある和歌山県ナース章を賜り身に余る光栄と存じます。

ご推薦頂きました関係各位の皆様方に深く感謝申し上げます。

昭和48年和歌山赤十字高等看護学院を卒業し、35年間看護の道一筋に歩んで参りました。この間長い様で短かった年月でしたが、いつも笑顔を忘れず思いやりをもって優しい手と目で看護する事をモットーに患者様と接し、また患者様の笑顔に励まされ、続けることが出来ました。これも一重に良き先輩・同僚・後輩そして関係者の方々に恵まれた事と、皆様方のご尽力ご支援の賜ものと心よりお礼申し上げます。

今後も看護の質の向上を目指し、社会のニーズに応えられる様、そしてこの章に恥じない様、より一層自己研鑽に努めて参りたいと思います。ご指導の程宜しくよろしくお願い申し上げます。

田辺保健所 西田 幸子



この度、平成二十年度和歌山県ナース章を受章し、感謝と感激で胸が一杯です。

このような栄えある章を戴けたのも、先輩、同僚の皆様をはじめ地域の方々との支えと家族の協力があったからこそ受章であり、大変身に余る光栄と深く感謝しております。

昭和四十八年に保健師として採用され、無我夢中で業務に取り組んでまいりました。

時代は変遷し、保健・医療・福祉・教育・労働を取り巻く状況は大変厳しく、疾病構造も変化する中で、この受章に恥じないようこれからも関係機関と連携しながら地域の方々の健康づくりのお役に立てるよう精進したいと存じます。今後とも、なお一層のご指導とご鞭撻をお願い申し上げます。

国保日高総合病院 平川 純子



この度は、栄えある和歌山県ナース章を賜り、身に余る光栄に存じます。

ご推薦下さいました関係各位の皆様方に深く感謝申し上げます。

昭和46年和歌山県立高等看護学院を卒業し、38年間看護師として従事して参りました。今日まで長きに渡り勤められたのも先輩、同僚、後輩の皆様のご指導ご協力のおかげと心よりお礼申し上げます。

臨床においては、患者様から看護の喜び、大切さ、すばらしさを教えて頂きました。めまぐるしく激変する医療現場において、安全でよりよい環境を整え、社会のニーズに応じた質の高い看護を提供できる様、微力ながら一層努力して参りたいと思います。

今後ともご指導賜りますようよろしくお願い申し上げます。

医療法人明美会 有田南病院 南 美枝子



この度、栄えある和歌山県ナース章の栄誉に浴しましたことは、この上もない喜びであり身に余る光栄でございます。又ナース章を賜る事ができましたのも、ひとえにご推挙下さいました関係者の皆様のお蔭と深くお礼申しあげますと共に改めてその責任の重さに身の引き締まる思いで一杯です。

長崎県で保健師と養護教諭を取得し教務赴任一年後、医師である夫と昭和50年に来和し未開地での開業が始まる。診療所から病院まで35年間、地域の人々の為にこの志で車の両輪の如く昼夜懸命に尽くして参りました。「精神看護が土台」の教訓を胸に今後とも大好きな看護の道を微力ながらも続けていくつもりです。皆様方のご指導ご支援をよろしく申し上げます。

公立那賀病院 山中京子



この度、栄えある和歌山県ナース章を賜り、身に余る光栄でございます。

看護の道に進んで30余年、いろいろと思いがけないこともあり、挫折しそうになったこともありました。そんな私を支えてくださったのは、職場の上司であり同僚でした。この章は、私一人のものではなく、職場の仲間と一緒にいただいたものと思っております。

医師、看護師不足等で、医療・看護現場を取り巻く環境は、益々厳しくなると思いますが、看護部の理念である「愛ある看護」を基に、患者様に満足していただける看護の提供ができるよう、日々研鑽を重ねてまいりたいと考えております。今後ともご指導のほどよろしくお願いたします。

最後になりましたが、この栄えある章にご推薦下さいました関係者の皆様に、心より感謝申し上げます。

おめでとうございます

全国保健所長会長表彰

湯浅保健所 柏木 真弓美

保健師のコーナー

保健師職能委員 城本 依穂

三職能合同研修会を終えて

9月6日、プラザホープにて保健師職能集会・三職能合同研修会が開催されました。保健師職能集会では「行動変容につながる保健指導」～生活習慣病予防活動支援モデル事業・保健師への提言～と題して日本看護協会常任理事の井伊久美子先生からご講演をいただきました。今回は新たに産業保健師として活躍されている方を会員に迎え、会員が減少していく保健師職能としてとても力強く感謝しています。私たち保健師は公的な研修も多く、看護協会を研修の場と考えれば、高い会費を払ってまで会員になる必要性はないと考える方がいると思います。しかし、『保健師活動のあり方をどうしていくか』と大きく考えていく時には、保健師職能の果たす役割は大きいのではないのでしょうか。

井伊先生の講演を聞きながら改めて感じさせられました。

また、三職能合同研修会では、「災害時における看護職の役割と連携」と題して井伊先生、高岸壽美さん、亀田登代美さんにそれぞれご講演を頂き、シンポジウムを開催しました。タイムリーなテーマであったため、246名と予想以上の参加者で座るのがやっとの状態で皆様には大変ご迷惑をおかけしました。それ程災害時にわれわれ看護職の果たす役割は大きく、皆様の関心の高さを改めて感じさせられました。最後に助産師職能の方から「災害時の妊産婦・乳幼児の支援等についても、検討されるべきだ」という意見もあったように、まだまだ検討しなければいけない課題も多く、私たち会員一人一人が災害時に果たすべき役割を考えていく必要があると思います。そのためにも継続して研修を実施していく必要性を感じました。

助産師のコーナー

助産師職能委員長 芝 佳子

助産師職能集会の講演の要旨紹介

テーマ「助産師外来の開設の実際～明日からできる助産師外来」

講師 開業助産師 織田 智子先生

1. 助産師の仕事…妊娠出産のスペシャリスト
2. 助産師外来とは…助産師が専門性を生かし責任を持って、助産師本来の仕事を発揮できること・待ち時間が少なく妊婦さんとの信頼関係が築け、安心して助産師のスペシャリストの技術が受けられる
医師との業務の区分をきちんとする。助産師同志の信頼関係を築くこと。
3. 助産師外来をとりまく他の職種の人との連携を大切に。特に医師や全スタッフ。
産科医師と快く話し合い、よい看護に結びつける。
4. 助産師外来で求められる助産師の資質とは？
 - ① 人間性—相手を受け入れる・共感できる心・助産師としての意識、誠意
 - ② 知識—医療の知識・分からない事は恥ではなくきちんと調べて伝える。知っている知識は必ず伝える。自分だけ知っているのはだめ。特に勉強会をもつこと。
 - ③ 技術
・コミュニケーション（保健指導の技術）

妊婦さんや家族から信頼されるように。相手に対して共感する気持ちが大切。

保健指導で追い詰めない。ハードルは低く、超えられたら褒める。保健指導は時間ではなく内容が大切。記録物は誰が見ても分かるように記入する。

- ・診察—問診・視診・聴診・触診・内診・エコー等
- ・助産診断—助産師の命
聞く→見る→さわる→感じる→考える→
実施（アプローチ）→評価→考察
- ・乳房マッサージ等のケア
おっぱいをほぐすだけでなく、心もほぐす。とりあえず触ってあげる。
- ・チームワーク

④ 上限のない向上心

5. 一歩踏み出す勇気と継続させる根気—

* 織田先生は、石塚助産院等での実務経験・星が丘厚生年金病院での助産師外来立ち上げの経験を、助産師としての情熱全開で話され、先生のお人柄と話術のうまさ魅了されました。職能委員会を中心に“今こそ助産師外来！院内助産！”を合言葉に研鑽に励み、輪が広がるよう会員の皆様のご協力をお願いいたします。

看護師のコーナー

看護師職能委員 吉田 つぐみ

新年明けましておめでとうございます。一年の計は元旦にありと言われますが新年を迎え皆様は“今年はこの夢をかなえるゾウ！”と何か決意されたでしょうか？

今回この看護師のコーナーをお借りしまして平成20年度看護師職能集会の報告をさせていただきます。昨年9月6日（土）10時～12時和歌山勤労福祉会館プラザホープに於いて看護師の職場定着をテーマに職能集会を開催いたしました。看護師職能委員長の挨拶からはじまり、委員会活動報告、和歌山県下の子育て支援実態調査報告が行われました。次いで滋賀医科大学附属病院看護副部長餅田計司先生を講師にお迎えし「いきいきと働きつづけられる職場

づくり」についてご講演いただきました。人間の本質から食の大切さ、将来の医療はどうなるのかまで幅広い内容でご講演いただきみんなで元気をいただきました。

187名の参加があり、研修後アンケートに対し161名の回答が（回収率86%）得られました。『研修のあり方や講演の内容が良かった』と約96%の方が答えており、さらに皆様からご意見・ご感想を沢山いただきました。

ワークバランス（仕事と生活の調和）を保ちながら看護職がいきいきと働き続けられる職場づくりを目指し、看護師職能委員会活動をしていきたいと委員一同思っておりますのでよろしくお願ひします。

看護協会委員会のコーナー

委員長 湯上 ひとみ

看護研修センター建設推進委員会からの経過報告

9月19日（金）第3回委員会を開催。その後11月5日（水）第5回理事会に出席。

《第3回委員会検討内容》

1. 建設推進体制の組織・運営について
 - (1) ワーキンググループの組織について確認
 - (2) 看護研修センター建設推進委員会及びワーキンググループの規約等について
・看護研修センター建設推進委員会内規及び「ワーキンググループ規約」（案）並びに基本理念・新看護研修センターコンセプトを事務局において作成し、次回検討する。
2. 購入予定地を見学（20.8.6）しての意見交換
・総会で決定した北赤坂台の建設予定地と近くの南

赤坂台にある、以前ファーストレベル研修等で借上しましたトランスコスモス施設を見学して、双方のメリット、デメリットについて意見交換。

- (1) 購入予定地（北赤坂台）について
 - ① 山を切り開いた土地で、地質は岩盤のため頑強である。
 - ② 上下水道が整備済みである。
 - ③ 保育園が隣接して建設され、看護研修センターの建設について影響が懸念される。
 - ④ 近隣に住宅が増加してきている。
 - ⑤ 駐車場100台は確保困難

- (2) トランスコスモスの物件（南赤坂台）について
- ① 築10年の鉄筋コンクリート2階建て、施設は立派である。
 - ② 敷地の2,000坪が魅力、将来性がある。
 - ③ 駐車場100台収容は、芝生の庭を改修すれば確保可能。
 - ④ 準工業地域であるため、駐車や騒音に関するトラブルは皆無と考えられる。

- ⑤ 必要な研修室確保のため、一部改修が必要となる。
- ※ トランスコスモスの物件について、情報収集を行っている。

私の○○○

串本周囲は、海に囲まれています。串本はダイビングスポットでもあり、さまざまな珊瑚や魚たちが出迎えてくれます。仕事で悩み、日々の勤務に疲れを感じていても、海の中に入ると、別世界に来たような感じになります。本当に自分の悩みが小さいものを感じるようになります。気持ちがリセットされ「また、明日からも頑張ろう！」そんな気持ちにさえなれます。

ダイビングだけではなく、海でのシーカヤックや川でのカヌーなど、都会にはない田舎ならではの自然の良さを、楽しむことができます。寒くなると、あまり海や川には行かなくなりますが、また近い

私のストレス解消法

串本病院 瀬上登紀子

ちに潜りに行こうと思います。ダイビングをしたことがない人でも、まずは体験ダイビングから始めてみては？と思います。

リレーエッセイ 友達の輪 NO.27

『人と人の 輪と環』



日本赤十字社和歌山医療センター 石橋佳子

最近自分は、また自分の家族は沢山の周りの人に助けてもらい、支えてもらっているということ強く強く感じる出来事が重なりました。「人は一人では生きていけない」という言葉を時々耳にしますが、本当にその通りだと思います。気付かない場合も含め、人は必ず多種多様な形で、誰かに支えられ助け

てもらっているのだと思います。自分はそういう大切なことを時々忘れてしまっていますが、周りの人への感謝の気持ちを持って、恩返ししながら歩んでいきたいと思います。お世話になっている皆様、本当に有難うございます。

(次回は、日本赤十字社和歌山医療センター塩路まり子さんです。)

〜〜〜 東洋羽毛のサービス 〜

- | | | |
|--------|------|--|
| リフォーム | ………… | 古くなったお布団を、新品同様にリフレッシュします。羽毛は、きれいに洗浄して、新しい生地に詰め替えます。また、使わなくなったダブルを、シングルなどに、作り替える事も出来ます。 |
| 補修・お直し | ………… | 穴が空いてしまったり、破れてしまった時は、補修します。 |
| クリーニング | ………… | 大きなお布団を、クリーニング店まで持って行く必要はありません。宅急便で、ご自宅まで取りに伺います。 |
| 特別注文 | ………… | 製造メーカーなので、ご希望のサイズの、お布団を作ります |



※お布団の事なら、何でもご相談下さい。

社団法人 和歌山県看護協会 推薦
東洋羽毛関西販売(株)

ホームページアドレス
<http://www.toyoumo.co.jp>

和歌山営業所 〒6408329和歌山県和歌山市田中町2-18-1-2F
フリーコール 0120-32-7766
大阪営業所 〒564-0062大阪府吹田市垂水町3-8-13
フリーコール 0120-88-2104

トピックス 2009

「感染に関する最新情報について」 ～新型インフルエンザ～

和歌山県立医科大学附属病院

感染制御部 柳 瀬 安 芸

近年、鳥インフルエンザが人から人へ感染する新型インフルエンザの発生が危惧されています。新型インフルエンザは人が免疫を持たないことから容易に人から人へ感染し、大流行が起こり、和歌山県でも医療機関を受診する患者数は最大約 21 万人（入院：4,600 人、外来：20.5 万人）といわれています。

新型インフルエンザに関する情報は、厚生労働省や和歌山県庁等のホームページで公開され、適宜更新されています。例えば、厚生労働省は「新型インフルエンザ行動計画」、「新型インフルエンザガイドライン（フェーズ 4 以降）」、和歌山県では「和歌山県新型インフルエンザ対策行動計画第 1 版」、「新型インフルエンザ院内感染対策ガイドライン」などを策定しています。

これらによると、新型インフルエンザ発生時は、発熱を有する患者からの相談を受けるセンターが各保健所等に設置され、医療機関では発熱外来を設置し外来診察を行うことになると思われます。また、入院については感染症指定病院、結核病床、公的医療機関の順に協力要請されることになっていますが、和歌山県では県内 6 ヶ所の第 2 種感染症指定医療機関から優先的に入院することになると思われます。和歌山市内には感染症指定医療機関はありません。

新型インフルエンザの感染拡大を抑えるためには、国や自治体だけではなく、我々医療従事者はその準備しておくこと、そして発生時は適切に対応することが大切です。ぜひ、一度上記の行動計画やガイドラインを確認することをお勧めします。そして、もうひとつ重要なことは「咳エチケット」の日常的な実施です。咳、くしゃみ等の症状のある人にはマスクを着用してもらうこと、このような人と接する時にはマスクを着けること、咳やくしゃみをおさえた手や鼻をかんだ手は直ちに洗うこと、これらが「咳エチケット」です。今すぐ実行していただきたいと思えます。

〈参考〉

厚生労働省 HP <http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou04/index.html>

和歌山県庁（難病・感染症対策課）HP

<http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/050300/infuru/shininfurutop.html>

医療が変わる！

医療安全対策委員会からのお知らせ

医療安全全国共同行動 “いのちをまもるパートナーズ” キックオフ！（2008. 5～2010. 5）

あいにく医療事故によって、いま医療に対する信頼が大きく揺らいでいます。

医療安全全国共同行動では、医療に従事するすべての職種の人々、病院団体、専門職団体、学会他さまざまな医療団体が、安全な医療を実現するために職種や立場を超え一丸となって安全対策の実施と普及に取り組み始めました。キャンペーン期間は平成 20 年 5 月から 2 年間です。全国の病院が自主的に参加登録を行い、地域の病院が互いに協力しながら医療の質、安全の確保をめざし 8 つの行動目標について組織的な活動を実施しております。モニターを希望される施設はインターネットにて検索ください。

- 8 つの行動目標
- | | |
|-----------------|--------------|
| 1、危険薬の誤投薬防止 | 2、周術期肺塞栓の予防 |
| 3、危険手技の安全な実施 | 4、医療関連感染症の防止 |
| 5、医療機器の安全な操作と管理 | 6、急変時の迅速対応 |
| 7、事例要因分析から改善へ | 8、患者・市民の医療参加 |

医療安全全国共同行動 “いのちをまもるパートナーズ”

<http://kyodokodo.jp/>



教員 水田 真由美



和歌山県立医科大学保健看護学部は看護短期大学部（3年制）から4年制になり、今年で5年目を迎えます。今年の春、1期生が卒業し今後の活躍が期待されるところです。本学は県内で唯一の看護系大学であり、和歌山県の質の高い医療・保健・福祉のために貢献できる人材を育成する使命があります。

本学のカリキュラムは、「充実した教養、基礎教育」「問題解決能力、判断力、研究能力を育てる専門教育」「保健・医療・福祉の包括的学習」が特徴です。豊かな人間性と教養を兼ね備えるために、選択科目や教養科目を多くしています。また、問題解決能力、判断力、研究能力を育てるために、少人数による学習を積極的に取り入れ、

自主的に学習できるように工夫をしています。例えば、1年次の「教養セミナー」では、学生は5～6人のグループに分かれ、ある課題から自分たちで問題を発見し自らその解決を図って行きます。そこには教員1～2名が付きチュートリアル方式で1年間演習を行います。さらに、4年次には「保健看護研究」で自らの疑問や関心を解決するため、研究課題の決定、研究計画の作成、実施、まとめ、論文の作成、発表を行います。また、それ以外にも自主カリキュラムとして、学生の自主的な発想から生まれた企画を支援する制度があります。

学生の学習環境として、図書館（三葛館）は約40,000冊の図書と1,500タイトルの視聴覚資料、約500種類の学術雑誌を所蔵し、毎月平均150冊程度の新しい図書や約300種類の新しい雑誌が到着します。本学の図書館は学生、教員のみならず、和歌山県内の看護職の方々にも利用され、和歌山の医療・保健・福祉に役立っているものと思います。

このようにカリキュラムや学習環境を整え、卒業生が保健看護学部で学んでよかったと誇りに思える大学でありたいと思っています。



学生の声

私達は現在、「塗り絵によるリラクゼーション効果の検討」というテーマで、保健看護研究を行っています。初めての研究であり、戸惑うこともあります。先生のご指導のもと試行錯誤しながら進めています。今後、研究で得られた結果をメンバー全員で協力しながらしっかりまとめていきたいと思っています。そろそろ卒業も近づいてきましたが、研究や国家試験勉強も頑張りつつ、残りわずかな学生生活を楽しく、充実したものにしていきたいと思っています。

(4年生加藤、杉尾、藤田、宮口)

和歌山県看護協会の動き

第5回常務理事会・理事会報告

開催日時：平成20年11月5日（水）

10:00～12:30 / 13:30～16:00

I 報告事項

1. 地区別法人会会員

1) 報告事項

- ①看護基礎教育制度の改革推進の進捗状況について
- ②看護師学校養成所2年課程（通信制）進学者に対する奨学金の貸与について
 - ・骨子月額3万円とし2年間無利息貸与（年度毎36万円一括貸与）
 - ・応募期間：平成21年4月1日（金）～平成21年5月8日（金）
 - ・応募資格：日本看護協会員で看護師学校養成所2年課程（通信制在籍者）
 - ・応募方法その他、詳細は日本看護協会ホームページ参照（平成21年1月1日開設予定）日本看護協会ニュースにも1月掲載予定。
- ③保険業法改正と公益法人制度改革に伴う「看護賠償保険制度」の見直しについて

2) 協議事項

- ①日本看護協会の基本理念等（案）の検討について
11月3次案理事会で策定し公表意見募集12月末締め切りし最終案は平成21年3月公表その後、平成21年度通常総会にて決定予定し平成22年度中に公益社団法人へ移行予定
- ②新たな公益認定社団法人の骨子（案）について
 - ・公益社団法人定款変更の案
 - ・公益法人改革における理事会及び役員の機能及び責任の強化
 - ・地区理事選定について 代議員制度の実施状況と改正案 監事の選任について
- ③看護基礎教育制度の改革推進について
 - ・看護基礎制度教育の在り方に関する懇談会（論点整理）報告
 - ・今こそ看護基礎教育改革を（パワーポイントによる説明）
- ④政策実現力の強化について
- ⑤災害支援ナースの身分保障について
- ⑥看護の日・看護週間事業の今後のあり方について
- ⑦法人会会員からの本会への提案・要望事項について
- ⑧各法人会員の情報交換

2. 平成20年度中間監査報告及び事業経過報告

- 1) 平成20年度上半期事業報告
- 2) 平成20年度上半期会計報告（預金通帳照合含む）

3. その他

- 1) 各研修会開催予定
 - ・11月29日（土）施設会員代表者研修会
10:00～15:00
日本看護協会出版会 副社長 高橋美智先生
「看護管理者・看護教育責任者が果たすべき責務」
15:00～16:00 意見交換会
 - ・12月6日（土）院長・事務長・看護部長合同研修会
（13:00～17:00）衛星通信
「医療従事者に選ばれる職場づくり」
 - ・平成21年2月15日（日）看護協会・看護連盟合同研修会 13:00～15:30
講師 日本看護協会 常任理事 高階 恵美子
「診療報酬改定から見る看護の展望」
- 2) 県ナース章受章
11月7日県庁で授与式（13名受章）
看護協会会員10名 協会員には記念品贈呈
- 3) 2年課程（通信制）進学課程（在学期限4年）
推薦入試 願書申込期間11月10日～11月14日
協会より10名推薦
一般入試は願書申込期間12月15日～12月19日
- 4) リサイクル図書寄贈ボランティア活動へのご協力依頼について

II 協議事項

1. 平成20年度事業計画に向けての提案・要望事項について
2. 看護研修センター土地確保と建設について
 - 1) 現時点の状況 会議報告
 - 2) 理念・規約等について
 - ①看護研修センター建設推進委員会内規（案）について
 - ②ワーキンググループ規約（案）について
 - ③和歌山県看護協会の基本理念・新看護研修センターのコンセプト（案）について
3. その他
 - 1) 11月29日開催の施設会員代表者研修会について
 - 2) 看護教育連絡協議会研修会について
12月6日（土）平成20年度研修会
「新人看護職の看護実践能力の実現に向けて」
12月23日（火）第6回学生フォーラム
「病気を抱える子供と家族の生活」
 - 3) 和歌山県単独医療費助成制度見直しについて
 - 4) 機関紙への業者の広告掲載について

事務局からのお知らせ

- 2月 4日 常務理事会
- 4・5日 災害看護リーダー研修
- 7日 和歌山県看護研究学会
- 15日 看護協会・看護連盟合同研修会
- 19・20日 高齢者権利擁護推進員養成研修
- 3月25日 常務理事会・理事会
- 4月28日 常務理事会・理事会・合同運営会議

● 募集

会報「黒潮」の表紙写真を募集します。
自慢の1枚をメールまたは郵送にて事務局までお送りください。
E-mail : member@wakayama-kangokyokai.or.jp